

4 月以降のニカリウス地区における調査計画（案）概要

- 科学委員会助言を踏まえ、以下の項目で調査を実施すべく調整中。
- 調査実施前に、各項目の有識者にヒアリングした上で調査を実施。

調査項目	概要
植生調査	5月、7～8月頃に対象事業実施予定区域及び資材搬入区域を対象に植物相調査、現存植生図を作成する（ブラウン・ブランケ法）。
オジロワシ調査	オジロワシの繁殖期の4～8月頃（各月1回）に対象事業予定区域及び区域の半径2 kmを調査範囲とし、海上及び陸上から移動定点調査を実施する。
その他の鳥類調査	6月、7～8月頃に対象事業予定区域及び区域の半径500mを調査範囲とし、ラインセンサスを実施する（陸上1ルート、海上1ルート）。
陸上動物調査	5月、7～8月頃に対象事業予定区域及び周辺を対象に哺乳類（フィールドサイン・トラップ）・昆虫類調査（見つけ採り・各種トラップ）を実施する。 ※調査実施の是非は有識者にヒアリングした上で検討
景観調査	7～8月頃に対象事業予定区域及び主要な眺望点（海岸トレッキング利用ルート及び海上観光ルート）で景観を撮影し、フォトモンタージュを作成する。

今年度実施済み調査結果概要

- 有識者にもヒアリングした上で、落葉後の営巣木や個体の確認調査を実施（2024年12月）。
- オジロワシの営巣木は確認されなかった。
- 個体については、調査対象範囲（携帯電話基地局予定箇所より半径2km 範囲：滝ノ下地区沖を起点に念仏岩を経てニカリウス地区沖に至り、カブト岩を過ぎて赤岩地区沖合に至るまでの区間。直線距離で約4.5km）の海域を5往復（総移動距離約47.8km）する間に、猛禽類としては、高度110～250mの上空又は林内にオジロワシが9例、高度200m～500mの上空にオオワシが11例確認された。